



保育学科の教育・学生支援



本学保育学科は、昭和40年(1965年)に開設された山口県内で最初の保育者養成校です。卒業生数は6,000名を超え、その中には保育現場でのトップや中核として活躍している者も多数います。こうした伝統を受け継ぎ、私たちは、現代の子育てニーズに的確に対応できる即戦力の専門職としての保育者を養成することを期して教育にあたっています。

1.教育目標は？ ⇒「実践力ある保育者の養成」

年間50～60日の学外実習をはじめ、学内外で行う体験的な学習を通して実践力を養うようにしています。

2.教育の特色は？ ⇒「子どもに関する幅広い学び」「顔の見える関係で親身なサポート」

保育学科では、保育士・幼稚園教諭になるための学習を柱としながら、今の時代の保育者に求められるより幅の広い知識や技術を学習できるようなカリキュラムを整えています。また、教員は学生との間に“顔の見える関係”をつくりながら親身に関わっています。

保育学科学生の「教員との関係」満足度は **約90%** (とても満足33.7%・やや満足53.3%)

特に「とても満足」だけに注目してみると、**全国平均の約3倍！** (2014年大学生の意識調査 大学生協しらべ)

キャンパスライフ

◎新入生歓迎会(4月5日)

4月3日の入学式から始まった1年生の大学生活。新しい環境に期待と不安でいっぱいの新入生のために、保育学科では2年生が歓迎会を開いてくれます。学科紹介やダンス、バンド演奏の披露、教員が提供した景品があたるゲーム大会など楽しい催しを通して親睦を深めました(写真右)。



◎大学と高校 授業の違い

大学の授業は1コマ90分。1年生は当初その時間の長さに戸惑います。保育者になるために学ぶべきことは多く、理論から実践まで幅広く勉強します。時間割はビッシリですが、1年生がんばれ！



(写真上)音楽の授業風景

(写真左)「子どもとあそび」の授業で竜王山(山陽小野田市)に行きました。



「保育者不足について」

いま、全国的に保育士・幼稚園教諭が不足しています。子どもをもつ親が仕事と育児の両立ができるよう、国は積極的に保育現場を増やしていますが、施設をつくれればそこで働く職員が必要になります。ところが、免許や資格を取得しても保育の仕事につかない人がいたり、仕事についたとして

も離職率が高いなどの理由で、どの保育現場も職員確保に苦労しているのが実情です。

もともと賃金の安さに加えて、長く働いても昇給がしにくいことを指摘する声や、子どもの命を預かる仕事の責任の重さや事故への不安、保護者への対応の難しさが保育者不足を招いているという意見もあります。こうした意見に国も対応策を行っています。

保育の仕事は子どもの人権を尊重し、子どもの成長と発達を援助する大切で意義ある仕事です。そんな仕事ですから、いたずらに保育者の人数だけを増やす訳にはいかず、質の高い保育ができる人材を社会に送り出さねばなりません。

保育豆知識

イベント予告

オープンキャンパスを開催します！

開催時間:13:00～16:00(いつでもオーキャン 入退場自由) 受付開始時間:12:30～

<6月・7月のオープンキャンパス>

6/16(土) 学科イベント「学生による学生生活紹介」(保育学科の学生が学生生活についてお話しします。)

7/14(土) 学科イベント「保育現場をのぞいてみよう！」(付属幼稚園見学)

その他、「個別相談」コーナー(就職・奨学金・学生生活全般について何でもご相談)、
「教えて先輩」コーナー(在学生の生の声)など、盛りだくさん。

無料送迎バス有り
▶詳しくはホームページでご確認ください。

